京都産業大学神山天文台における装置開発の取り組み

2016年11月25日京都産業大学/フォトコーディング池田 優二

京都産業大学神山天文台

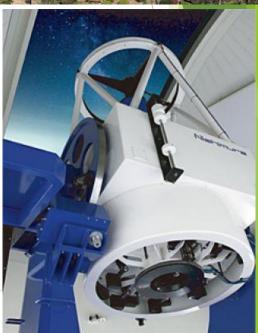
▶ 2009年12月~運用開始

▶ 創設者・荒木俊馬のシンボルとして

▶ 本学キャンパス内に1.3m望遠鏡







京都産業大学神山天文台-構成

▶ スタッフ: 3人(本学理学部と兼任)

▶ PD: 8人 (うち、プロジェクト付きPDは4人)

▶ 客員研究員: 5人

大学院生: 7人(うち、博士課程2人)

学部生: 5人 + α

▶ 事務員: 4人 (非常勤、兼任も含む)

2016年11月現在



京都産業大学神山天文台-コンセプト

- ▶ 装置開発の拠点としての天文台
 - ーポストすばる時代の人材育成の場(学部生、大学院生、PD) アクセスの良い天文台、天文界にとらわれない
 - 一独自の資金調達源として(直接的/間接的) 開発費、人件費



京都産業大学神山天文台-開発環境

▶ 測定器/設備: 4インチ干渉計 (Zygo製) · · · 球面原器あり

UV/VIS/NIR分光器 (日本分光製)

FTIR(日本分光製)

非接触3次元プロファイラ (三鷹光機製)

実体顕微鏡、位相差顕微鏡 3Dプリンタ、恒温槽、その他…

▶ 他機関にも開放中









京都産業大学神山天文台-開発環境

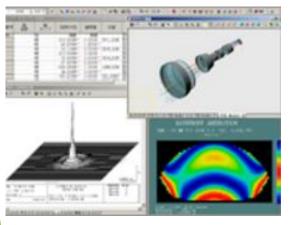
エンジニアリングソフトウェア:

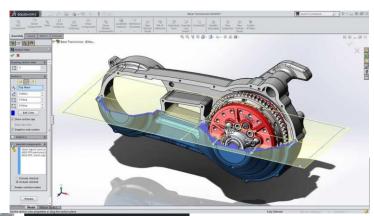
光学… CodeV(5), ZEMAX, LightTools, Virtual Lab, Poynting

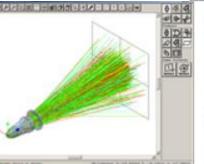
機械·構造·熱… Solidworks (20)

制御·解析… Matlab

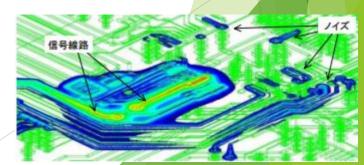
▶ 一部は学部授業(実習)のカリキュラムに組み込み











VirtualLabrusion

赤外線高分散分光ラボ(LiH)

- ► LiH (= Laboratory of infrared High-resolution spectroscopy)
- ▶ 2015年4月より始動
- ▶ 赤外線高分散分光に関わるサイエンス、開発に特化した組織



http://merlot.kyoto-su.ac.jp/LIH/

赤外線高分散分光ラボ(LiH)-3つの柱

WINERED

近赤外線高分散分光

- 〇松永(東大)
- 〇近藤(京産大)
- ○鮫島(京産大)
- ○濱野(京産大)
- 〇福江(京産大)
- ○新井(京産大)

河北、池田(京産大)& 小林(東大)

Immersion Grating 次世代高分散デバイス

- 〇中川(JAXA)
- ○猿楽(東大)
- 〇加地(京産大)
- 〇前嶋(東大)

VINROUGE

熱赤外線高分散分光

- 〇猿楽(東大)
- 〇近藤(京産大)
- 〇新崎(京産大)

赤外線高分散分光ラボ(LiH)-3つの柱

WINERED

近赤外線高分散分光

- 〇松永(東大)
- 〇近藤(京産大)
- ○鮫島(京産大)
- ○濱野(京産大)
- 〇福江(京産大)
- ○新井(京産大)

河北、池田(京産大)& 小林(東大)

Immersion Grating 次世代高分散デバイス

- 〇中川(JAXA)
- ○猿楽(東大)
- 〇加地(京産大)
- ○前嶋(東大)

VINROUGE

熱赤外線高分散分光

- 〇猿楽(東大)
- 〇近藤(京産大)
- 〇新崎(京産大)

WINERED

▶ 0.9-1.35um(z,Y,J-bands)の高分散分光器

▶ 高分散、広帯域、高効率(Kondo+2015, Ikeda+2016 他)

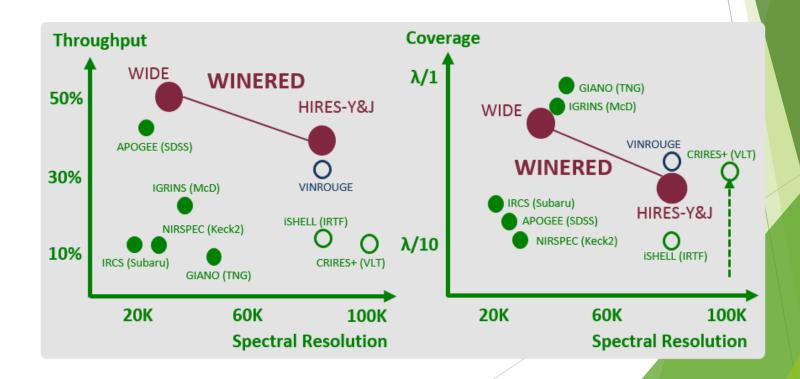
▶ 2017年よりNTT (3.6m) に移設

▶ 詳細は、渡瀬 (P02) と大坪 (P05) のポスター参照

	Wide mode++	Hires-Y mode	Hires-J mode		
Wavelength Coverage	0.90-1.35μm	0.95-1.11μm	1.14-1.35μm		
Maximum Spectral Resolution	28,000 (2pix sampling)	80,000 (2pix sampling)			
Slit Width	100μm (0.54")+, 200μm, 400μm				
Slit Length	3.12mm (17")+				
Total Throughput	> 50%	~ 32%	~ 42%		
Volume	$1750 \text{mm}(L) \times 1070 \text{mm}(W) \times 500 \text{mm}(H)$				
Operation Temperature	270-300K (except for camera lens and IR array)				
1					

WINERED

- ▶ 0.9-1.35um(z,Y,J-bands)の高分散分光器
- ▶ 高分散、広帯域、<mark>高効率</mark>(Kondo+2015, lkeda+2016 他)
- ▶ 2017年よりNTT (3.6m) に移設
- ▶ 詳細は、渡瀬(P02)と大坪(P05)のポスター参照



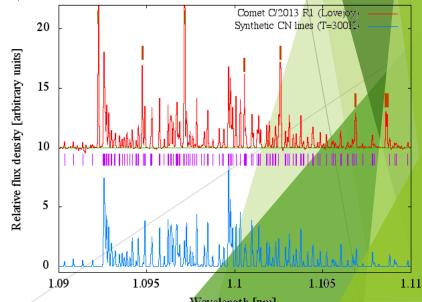
WINERED

NIR line atlas (Sameshima+ in prep, Ikeda+ in prep)



newly discovered NIR DIBs (Hamano+2015, 2016a, 2016b)

CN abundance in comet (Kawakta+2014)



赤外線高分散分光ラボ(LiH)-3つの柱

WINERED

近赤外線高分散分光

- 〇松永(東大)
- 〇近藤(京産大)
- ○鮫島(京産大)
- ○濱野(京産大)
- 〇福江(京産大)
- ○新井(京産大)

河北、池田(京産大)& 小林(東大)

Immersion Grating 次世代高分散デバイス

- 〇中JII(JAXA)
- ○猿楽(東大)
- 〇加地(京産大)
- ○前嶋(東大)

VINROUGE

熱赤外線高分散分光

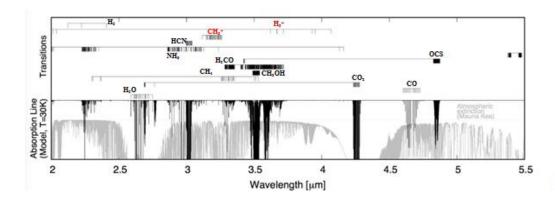
- 〇猿楽(東大)
- 〇近藤(京産大)
- 〇新崎(京産大)

VINROUGE

▶ 2-5.5um(K,L,M-bands)の高分散分光器(Arasaki+2016)

▶ 高分散: R=80,000 w/ Ge immersion grating

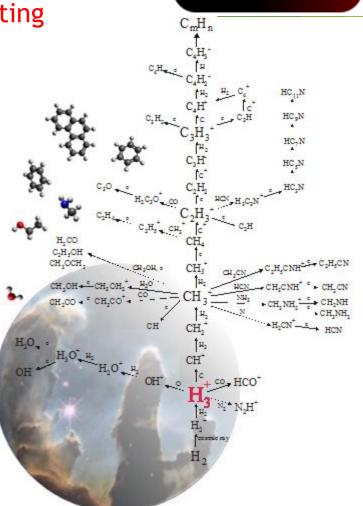
▶ 2019年ファーストライトを目指す



Key species controlling the astrochemistry for various organic molecules in astrophysical plasmas (Herbst & Klemperer 1973).

Rich chemistry of complex molecules; "Molecule Zoo" in ISM, that is also interesting in astrobiology, on the origin of terrestrial life (Ehrenfreund & Charnley 2001; Goesmann et al. 2015).

The most fundamental molecules in ISM (for the determination of thermo-kinetic properties; temperatures and gas-densities).



VINROUGE

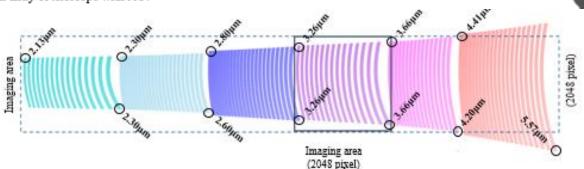
2-5.5um(K,L,M-bands)の高分散分光器(Arasaki+2016)

高分散: R=80,000 w/ Ge immersion grating

2019年ファーストライトを目指す (PD募集中)

Band		K	L	M	
Wavelength coverage		2.1-2.6 µm	2.8-4.1 µm	4.4-5.5 μm	
Spectral resolution			80,000		
Total throughput			> 25%		
Limiting magnitude(*1,2)	(S/N=10)	13.7 mag	12.5 mag	10.3 mag	
	(S/N=100)	10.0 mag	9.0 mag	7.5 mag	
Slit width × length(*2)		0.13 mm (0.18")×3.64 mm (5.0")			
Pixel scale (*2)		0.07 [arcsec / pixel]			
Array		5.3 µm cutoff HAWAII-2RG			

^{*1} The integration time of 1 hr.
*2 In case of 10m and f/15telescope with AO.



赤外線高分散分光ラボ(LiH)-3つの柱

WINERED

近赤外線高分散分光

- 〇松永(東大)
- 〇近藤(京産大)
- ○鮫島(京産大)
- ○濱野(京産大)
- 〇福江(京産大)
- 〇新井(京産大)

河北、池田(京産大)& 小林(東大)

Immersion Grating 次世代高分散デバイス

- 〇中川(JAXA)
- ○猿楽(東大)
- 〇加地(京産大)
- 〇前嶋(東大)

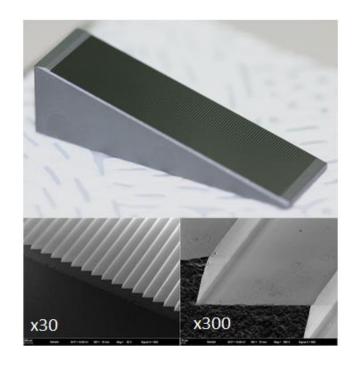
VINROUGE

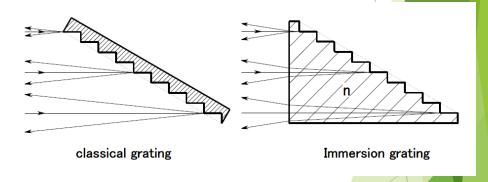
熱赤外線高分散分光

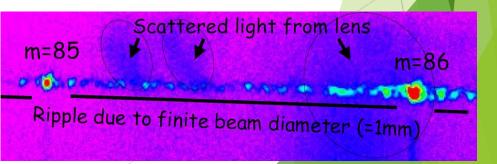
- 〇猿楽(東大)
- 〇近藤(京産大
- 〇新崎(京産大)

Immersion grating

- ▶ 可視~赤外領域をカバーするimmersion gratingの開発
- 材料調査~加工~測定システムまで
- ▶ 大型望遠鏡(TMTなど)、宇宙望遠鏡への搭載を目指す
- ▶ Collaborators: 宇宙研、LLNL、キヤノン、日鉱日石など

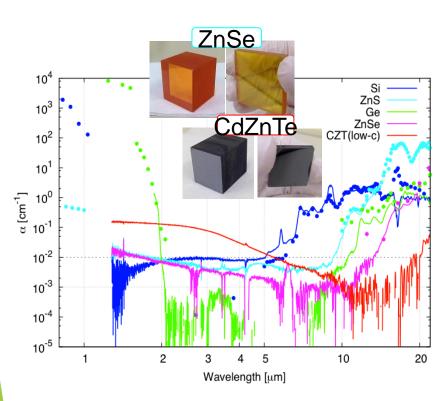


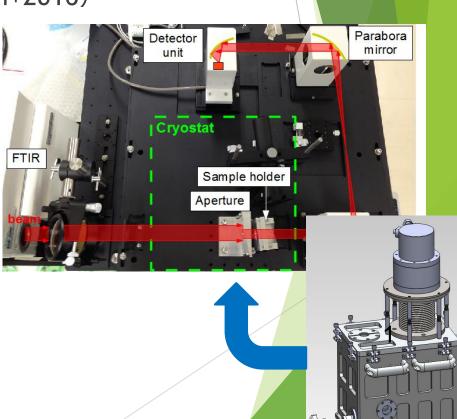




Immersion grating: 材料特性

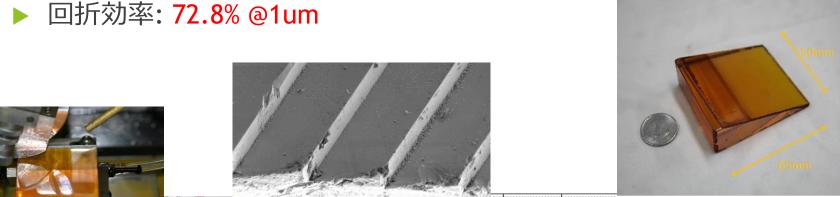
- ▶ IGの性能に関わる<mark>材料特定</mark>の独自調査(Ikeda+2009, Kaji+2014)
- 透過率 (α[cm⁻¹])、屈折率一様性(Δn)、適用可能サイズ
- ► 低温特性も合わせて調査(Kaji+2016)

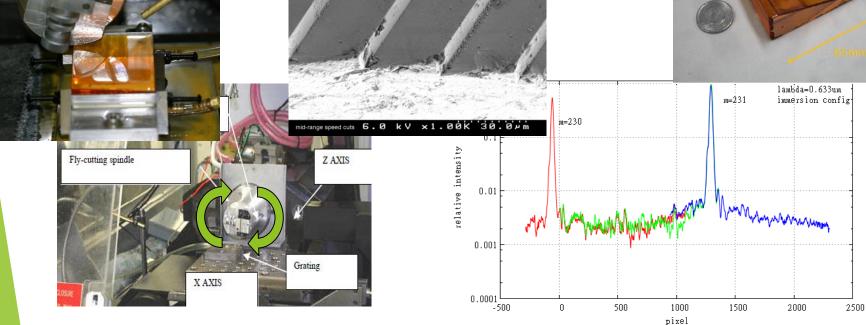




Immersion grating: ZnSe/ZnS

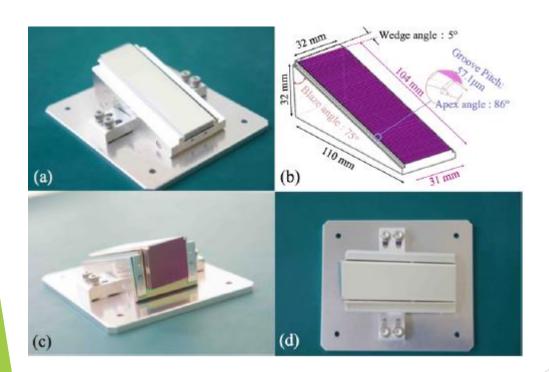
- ightharpoonup ZnSe (n=2.4)/ZnS (n=2.2): 0.8 \sim 10um
- w/ fly-cutting method @LLNL (Kuzmenko+2006)
- ▶ 最大クラスのIG: 70mm x 50mm (Ikeda+, 2008,2010,2014)

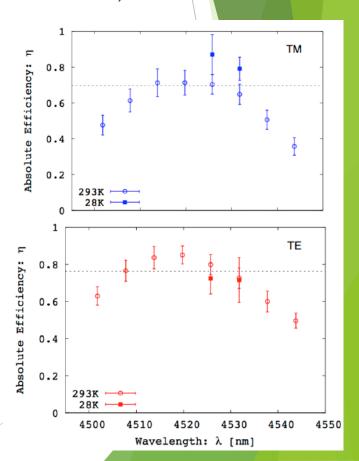




Immersion grating: Ge

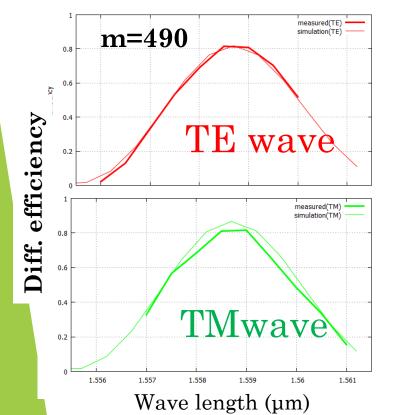
- Ge (n=4.0) : $2.0 \sim 12$ um
- w/ planning method @CANON
- ▶ VINROUGE用: 110mm x 32mm (Sarugaku+ 2016)
- ▶ 回折効率: >80% @4.5um

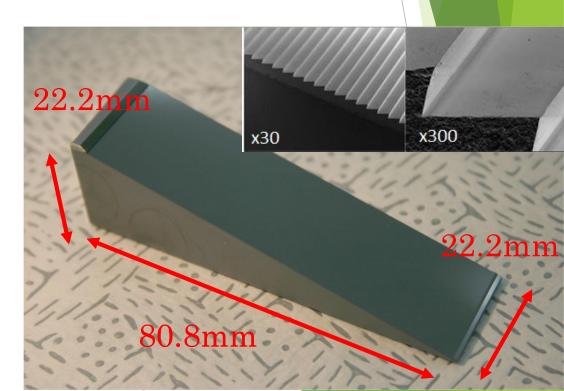




Immersion grating: CZT

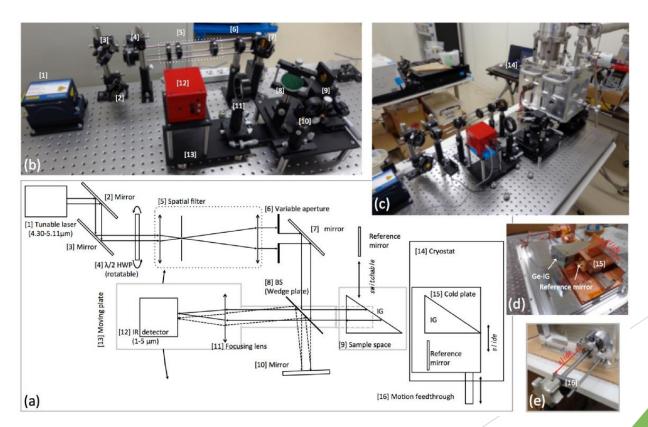
- \triangleright CZT (n=2.65): 5 \sim 20um (for space application)
- w/ planning method @CANON (Sukegawa+2012)
- First machined-ideal grating: 22mm x 80.8mm (Ikeda+\2015)
- ▶ 回折効率: >80% @1.5um, 4.5um





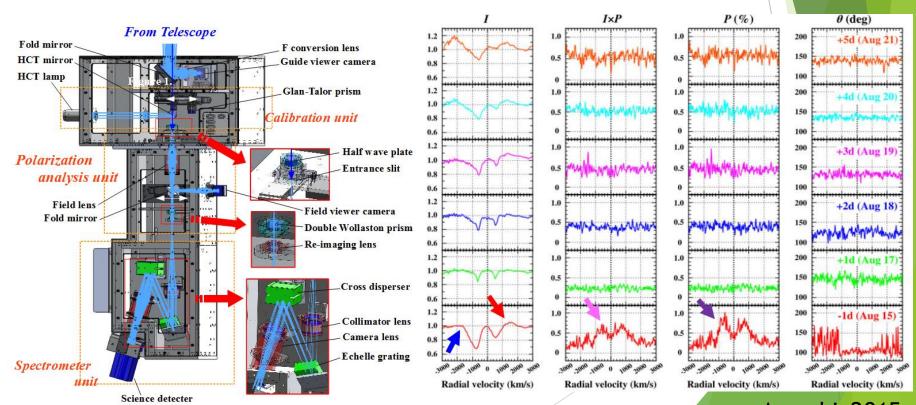
Immersion grating: 効率測定システム

- 独自開発した回折格子効率測定システム (Ikeda+2008,Sarugaku+2016)
- ▶ 素子を冷却しての測定も可能(Kaji+2016)
- ▶ 測定波長: 1.5um帯、4.5um帯



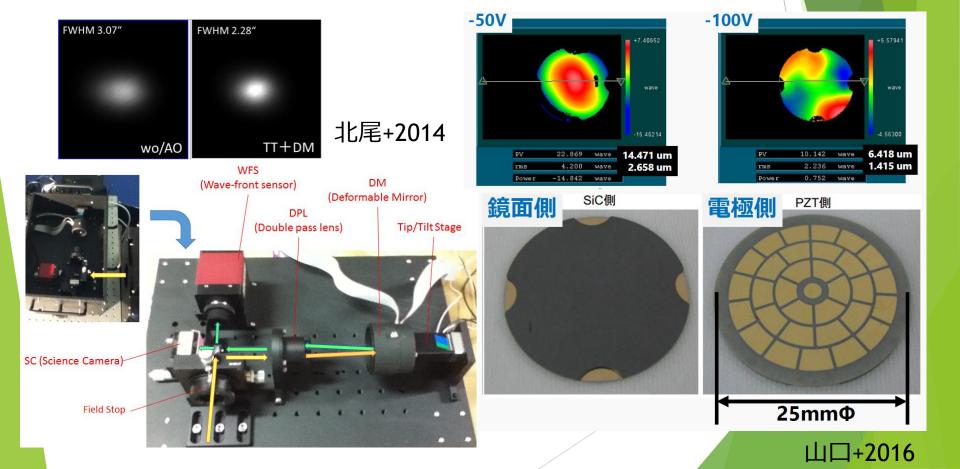
LiH以外の開発テーマ

- ▶ 可視高分散偏光分光観測装置 VESPolA (Arasaki +2015)
- ▶ R=7,000, 偏光測定精度ΔP < 0.1%
- ▶ R=20,000モード、円偏光モードの追加



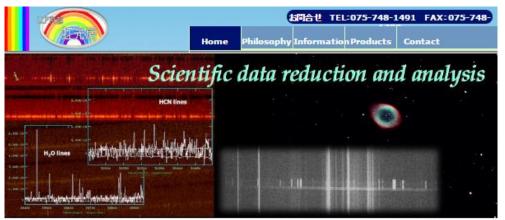
LiH以外の開発テーマ

- ▶ 可視小型AO CRAO (Fujishiro +2014)
- ▶ 冷却モノモルフDMの開発 w/国立天文台,京セラ(株)



まとめ

- ▶ 京都産業大学神山天文台 1.3m望遠鏡、装置開発を一つの柱にした 私大ならではの独自の取り組み
- ▶ 赤外線高分散ラボ(LiH) 赤外線高分散分光器のサイエンス/開発に特化した組織
 - WINERED: 近赤外、R-80,000、高感度
 - VINROUGE: 熱赤外、Ge IR
 - Immersion Grating: ZnSe/ZnS, Ge, CZTなど
- ただいま、7年目...



京都虹光房とは

京都虹光房は、天文学を専門とする研究者による事業組合です。 個々の研究を背景に、天文学や光に関わる技術・製品や教育サービスを提供する事業を展 開しております。









池田優二

中道晶香

吉川階俗

光学機器の萬屋-設計、製 天文学の寺子屋アストロ・ア 科学計測システムの構築、コ 造、販売、光学技術のコンサ カデミア、ブラネタリウムへ出 ンサルティング ルティング 前講座





別所泰提

小林仁美

ー般向け天体観測・撮影シ 天文観測、各種測定データ ステムの販売およびコンサ の解析。研究者のトータルサ ルティング ボート

組合員の公募

京都虹光房では組合員を随時募集しています。

詳細はこちらをご覧ください

What's new

・2016年9月13日 webベージをリニューア ルしました。

Edechs

- 2015年01月03日 謹賀新年 2015
 2014年10月07日 ISAAC NEWTON
- 2014年10月07日 ISAAC NEWTOI のページからObject Visibilityのグラ フを取得する
- 2014年07月08日 PyCon JP 2014 に参加します!

Estrista

2015年07月09日 <u>Estristaのページ</u>
 <u>を公開しました。</u>

Photocoding

 2015年01月21日 代表者経歴(論文) を追加しました。

お問い合わせ

TEL:075-748-1491 FAX:075-748-1492



で、どうなったのか…(所感も含む)

- ▶ 開発研究について
 - ちょっと手を広げすぎた感もある…(5つの装置)
 - WINREDやIGのような尖がった成果もあり
- ▶ 資金について
 - 自己資金+外部資金(私大助成、科研費など)
 - 人件費については、上記に頼らないルートも…(例: LLP京都虹光房)
- ▶ 教育について
 - 学位取得者 3名
 - 開発については、学部時代からの教育が重要
 - 真似事でなく、本物のサイエンス/開発が必要 (プロを育てるにはプロのレベルを知るところから)
 - 必ずしも天文関係に職を求める必要もない (それが結局すそ野を広げ、人材の流動性につながる)